The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信　臨時号

令和８年１１月９日

中学生の皆さんへ（結翔祭を終えて）

キャリア教育部

10 月 31 日（土）に結翔祭が行われました。1・2 年次生は教室でグループ内合同発表会を行い、それぞれの内容は以下の通りです。

1 年次生：自己理解とこれからに向けて、2 年次生：つばさ地域探究

3 年次生は、ポスターセッション形式で探究成果報告をしました。一般の方、1・2 年次生の前で堂々と発表し、質疑応答も活発に行われました。

各年次の代表は、つばさホールで発表を行い、審査をもとに、総合学科成果発表会代表を選出しました。

個人での探究活動ですので、生徒数だけテーマがあります。

いくつかのテーマを紹介しましょう。

「対人関係を円滑にする雑談の話題にはどのような条件があるのか」

「文化によって異なる親しみやすい声とは」

「コミュニケーション能力につながる経験は何か」

「メイクをすることによって自己肯定感は上がるのか」

「織田信長が本能寺で殺されていなかったら」

「人間とＡＩの戦争はあり得るのか」

「好き嫌いとおいしさの違いについて」

「論理的理解が感情的納得に繋がらないのはなぜか」

「うつ状態の人々を支える視覚的デザインとは」

「できるから楽しい？好きだから楽しい？物事を楽しむ方法とは」

「LGBT と歴史を繋げて差別をなくすには」

どうですか。「このテーマで探究になるのかな」「探究らしいテーマだな」「高校生で探究するには難しいのではないか」などいろいろと感じたことと思います。それでいいのです。探究活動自体に正解も不正解もないのです。活動そのものが自己の成長を促すのです。

総合学科高校での育ちの特色は、「科目選択」と「探究成果発表」と言っても過言ではありません。答えのない判断を責任持ってするのです。そして、その責任を果たしていくのです。

普通科とは異なる、このような育ちをしてみたいと思う中学生の皆さん、是非、つばさ総合高校を選択の一つに考えてみてください。